

広島県
商工会地域

中小企業景況調査報告書

第164回

令和3年4～6月期 実績

令和3年7～9月期 予測



34商工会地域(白部分)

令和3年7月

広島県商工会連合会

中小企業景況調査の概要

- | | |
|---------|--|
| 1. 調査趣旨 | この調査は、中小企業の景気動向を総合的に把握するため、全国の商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体管内の企業約19,000企業を対象に四半期ごとに実施されている。調査結果は(独)中小企業基盤整備機構で集約・分析・公表され、中小企業施策立案等の基礎資料として活かされるものである。
広島県商工会連合会では、県内商工会地域の最新景況データを解析、報告書に取りまとめ、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的として、この報告書を公表する。 |
| 2. 調査対象 | (対象地区) 県内14商工会
祇園町、江田島市、呉広域、佐伯、安芸津町、広島県央、三原臨空、大崎上島町、沼隈内海、福山北、福山あしな、上下町、三次広域、備北
(対象企業) 231社
製造業45 建設業46 小売業70 サービス業70 |
| 3. 調査方法 | 経営指導員による訪問面接調査 |
| 4. 調査期間 | 令和3年4月～6月期実績、及び令和3年7月～9月期の見通し |
| 5. 調査時点 | 令和3年6月1日 |

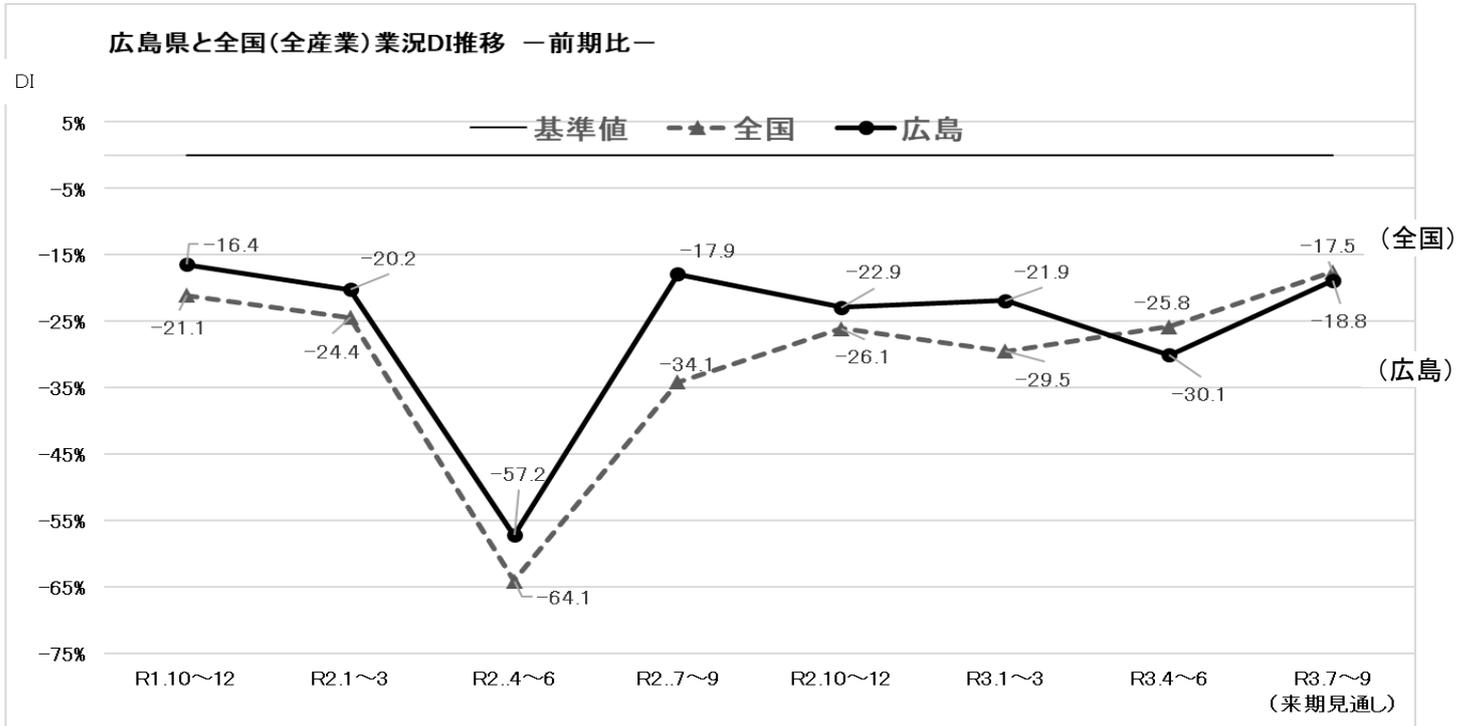
6. DIとは Diffusion Index (景気動向指数)の略。
各調査項目について、増加(好転)企業割合から、減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示し、「変化の動向」を把握する。
DIがプラス(+)なら……強気(楽観)、上昇機運
DIがマイナス(-)なら……弱気(悲観)、低下機運
例えば、売上高で回答割合が、増加50%、不変30%、減少20%の場合、 $DI=50-20=30$ となり、全体としての経営者の強気(楽観)度合いを表している。
7. 表記基準 変化の動向(改善、悪化など)を解説する場合に用いた表記基準は次のとおり。
「横ばい」 0を基準に±2ポイント未満
「小幅、やや」 0を基準に±2～8ポイント未満
「大幅、大きく」 0を基準に±8ポイント以上
8. その他 この集計値は、全国商工会連合会が提供する全国集計を基に、広島県商工会連合会の集計書式に収めて編集したものである。
(参考) 全国及び広島県内の経済動向について、その他機関による調査資料
- (独)中小企業基盤整備機構 (3団体を含む全国版報告書)
<http://www.smrj.go.jp/keiei/chosa/keikyo/>
 - 中国財務局 (中国地方の経済情勢)
<http://chugoku.mof.go.jp/chousatoukei/keichou/keizaijyousei/jouseishinchaku.html>
 - 広島県 (広島県経済の動向)
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/67/1244079054510.html>

産業全体の概況

1. 広島県と全国(全産業) ※商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体データを含む。

広島県全産業の今期業況DIは、-30.1(前期-21.9から-8.2ポイント)と下降推移。一方で全国DIは-25.8(前期-29.5から+3.7ポイント)と、小幅に上昇。来期は広島県・全国ともに回復傾向の見込み。

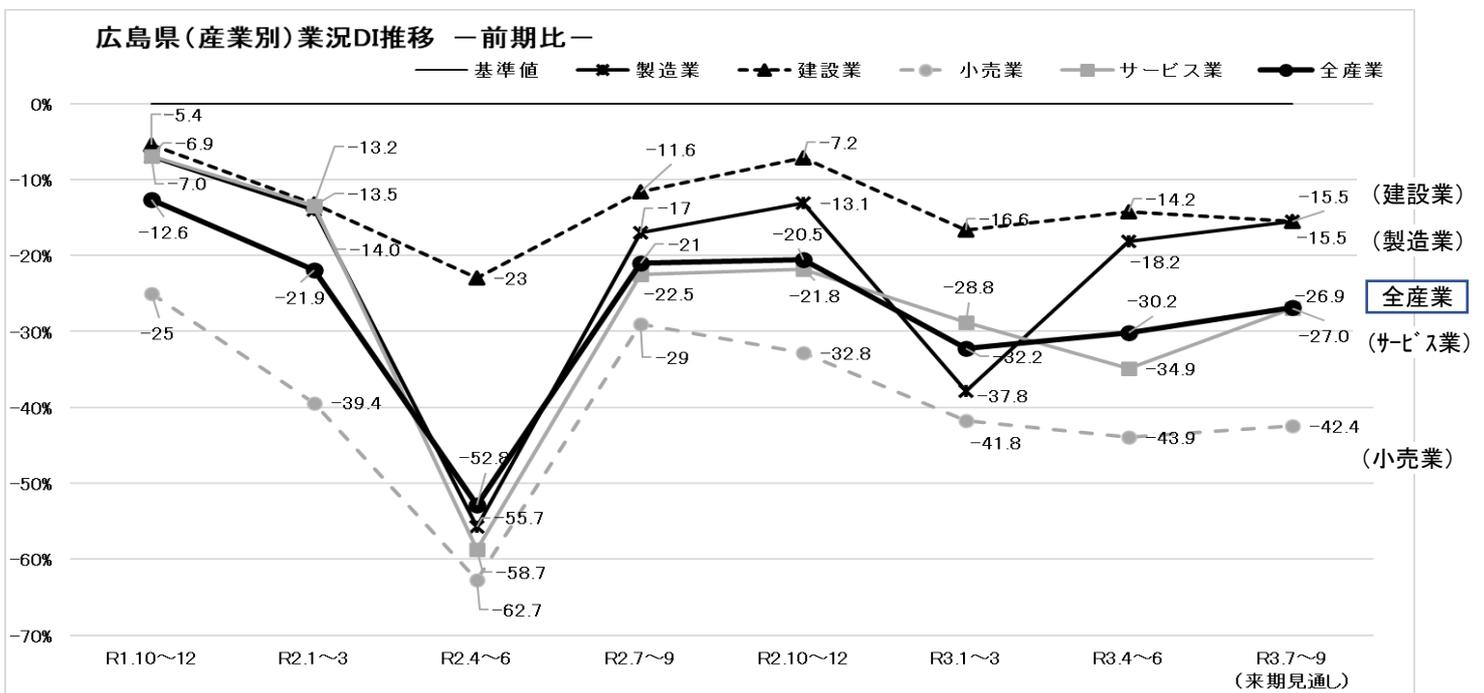
広島県(全産業)業況DI推移 ー前期比ー



2. 広島県(産業別) ※商工会地域のみ

広島県産業別では、今期は建設業、製造業で上昇推移、一方で小売業、サービス業は下降推移となった。来期は小幅ながらも全産業DIは上昇推移となり、2期連続の上昇推移を見込んでいる。

広島県(産業別)業況DI推移 ー前期比ー



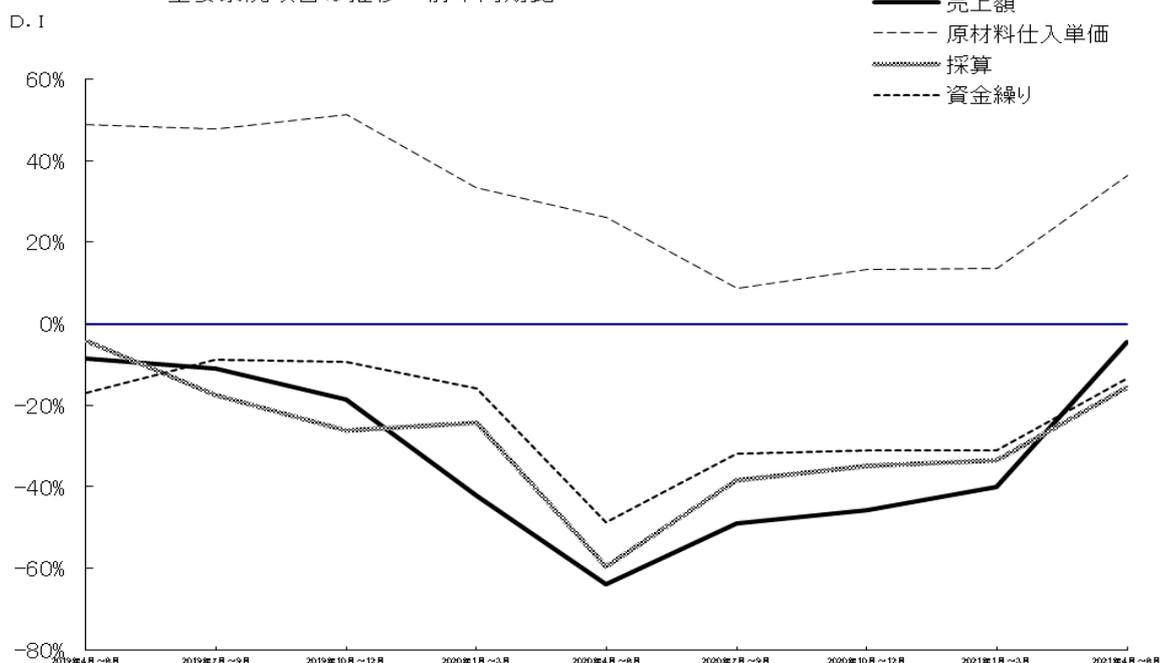
製造業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	製造業 DI		（前年同期比）		（来期見通し）	
	R3.1～3	R3.4～6	前期との比較	R3.7～9	今期との比較	
売上額	-40.1	-4.5	↗	-17.8	↘	
原材料仕入単価	13.6	36.4	↗	31.8	↘	
採算	-33.4	-15.6	↗	-22.7	↘	
資金繰り	-31.1	-13.4	↗	-15.6	↘	

広島県 製造業

主要景況項目の推移 -前年同期比-



- 企業のコメント
- ・ コロナ禍によって休業するお店が増え、売上が低下。終息の目途が立たず、閉店するところもあるので、今後の見通しが見つからない。(パン・菓子製造業)
 - ・ 今期はコロナの影響もあり停滞気味で、前期と比較すると売上は多少増加傾向にあるが、通常には戻っていない。自動車関連はEVに移行することもあり、客先は計画の見直しをしている。今後の動向を注視している。(その他の生産用機械・同部分品製造業)
 - ・ 昨年末より原材料価格の上昇が今現在も続いています。かつ、品薄も発生し、価格上昇の中、材料の確保も急務となっている状況です。(金属素形材製品製造業)
 - ・ 受注量は多くありますが、外国人の入国が遅れているため、生産量が上がらない。国として何とか考えて欲しいと思う。(外衣・シャツ製造業(和式を除く))
 - ・ 引き合いは好転しているが、大型案件の受注は今一歩の状況である。今後の受注に期待します。(その他の鉄鋼業)
 - ・ 新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大により受注の減少が長引き、委託加工が3割くらいに落ち込んで大変厳しい状況です。和紙系の事業は出張をしながら営業努力を続けることにより、売上増加に向けて努力をしています。(製糸業、紡績業、化学繊維・ねん糸等製造業)

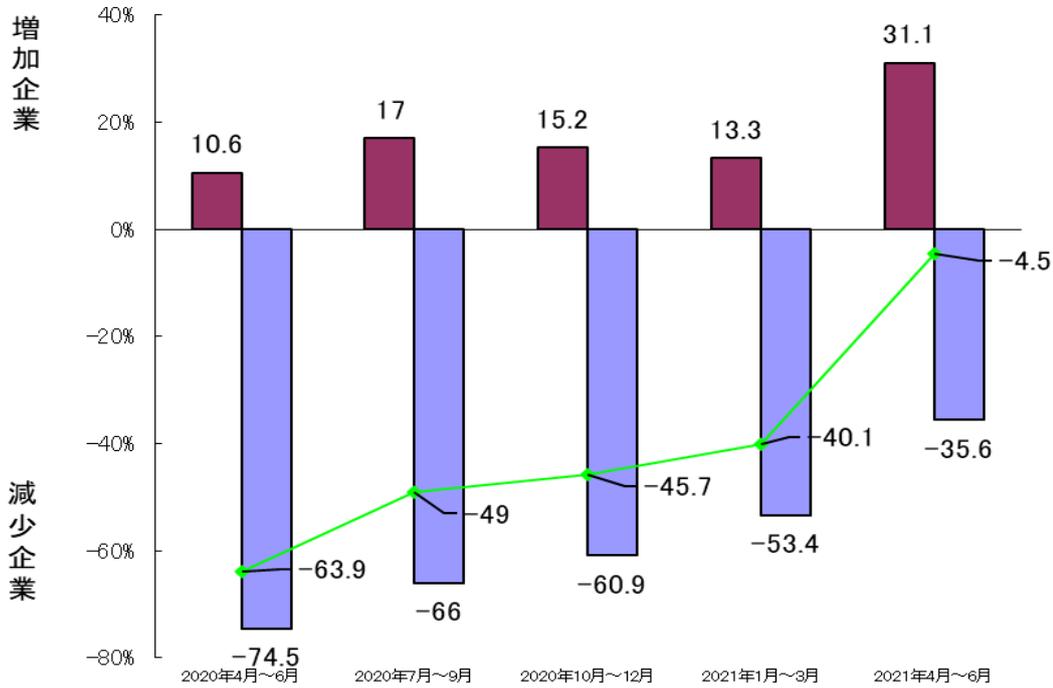
製造業（商工会地域）

2.売上額(加工額) -前年同期比-

広島県 製造業

売上額の状況 - 前年同期比 -

◆ 今年D.I.

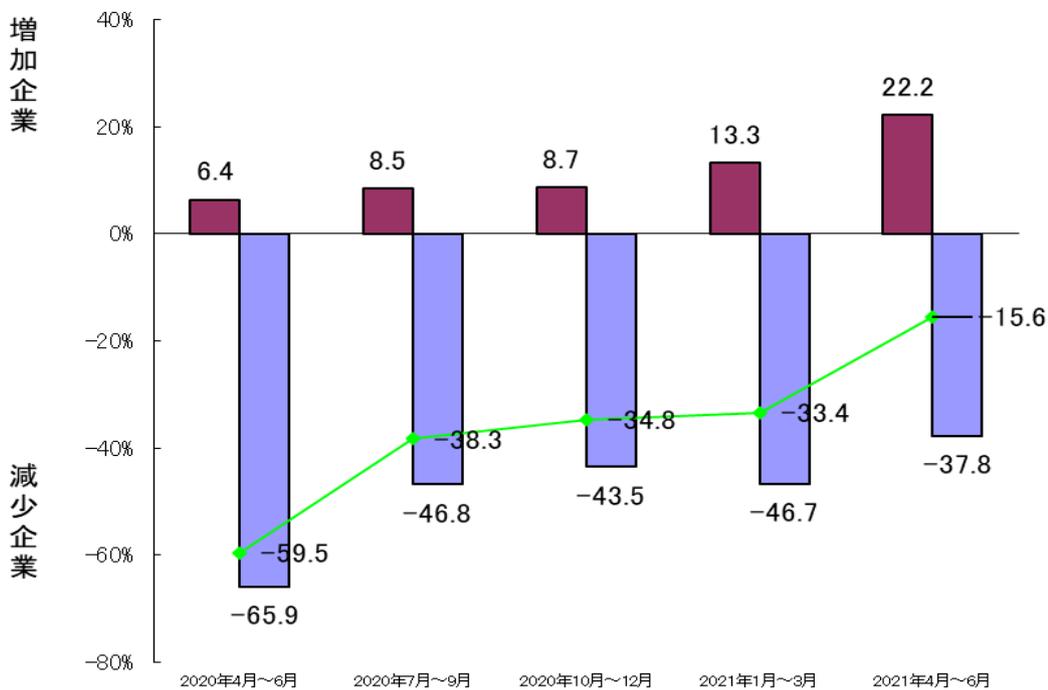


3.採算(経常利益) -前年同期比-

広島県 製造業

採算の状況 - 前年同期比 -

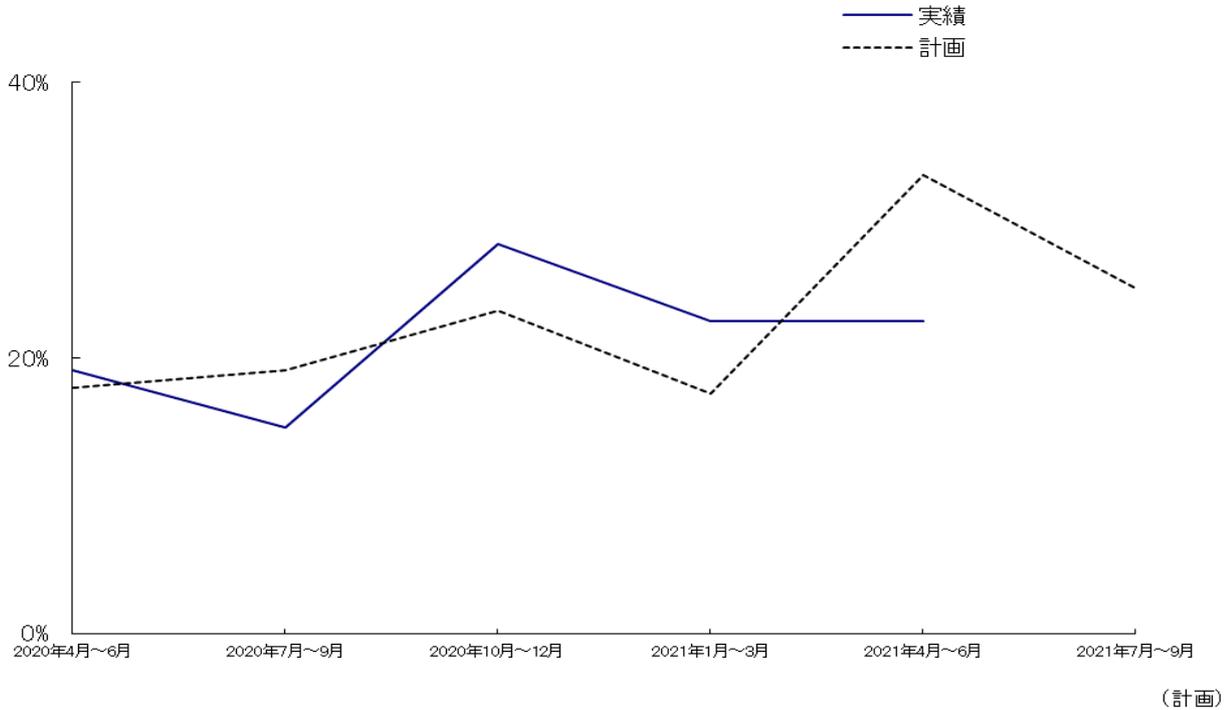
◆ 今年D.I.



4.設備投資の状況

広島県 製造業

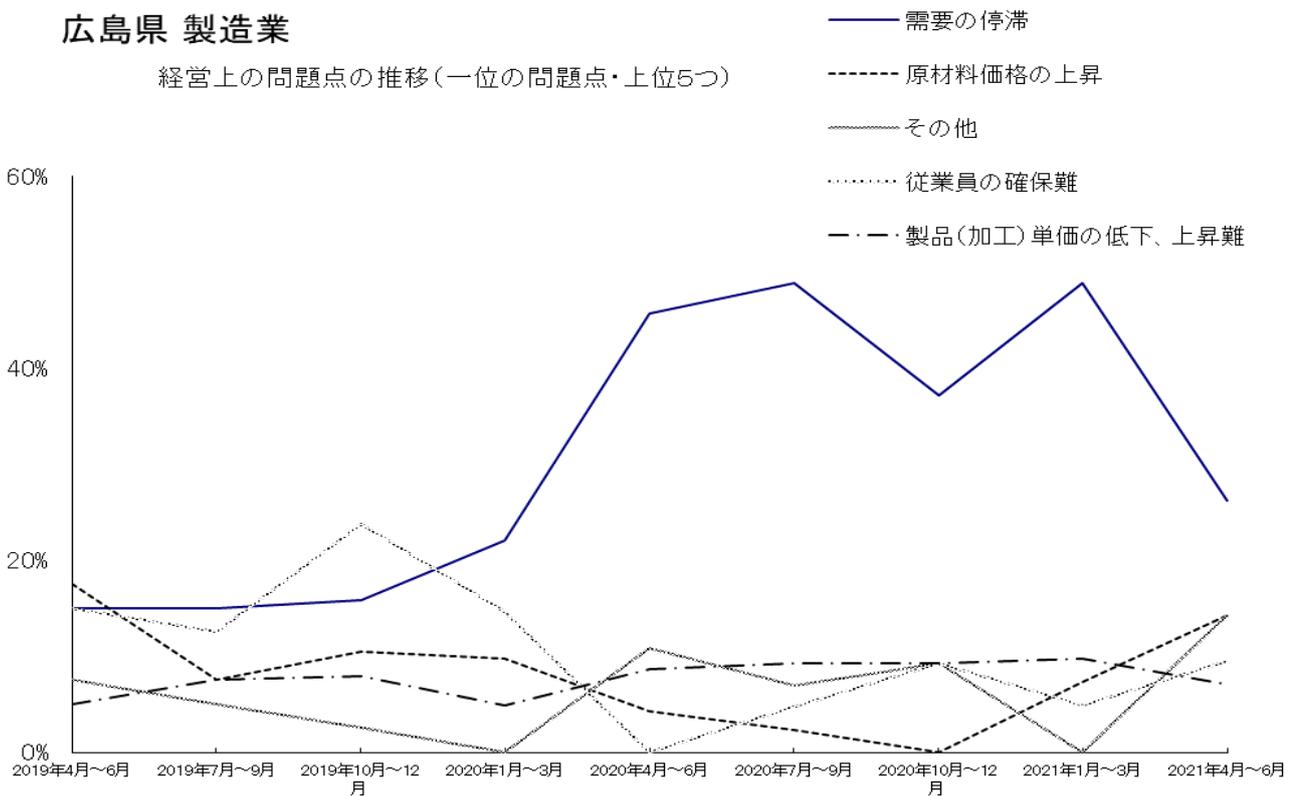
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 製造業

経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つ）



建設業（商工会地域）

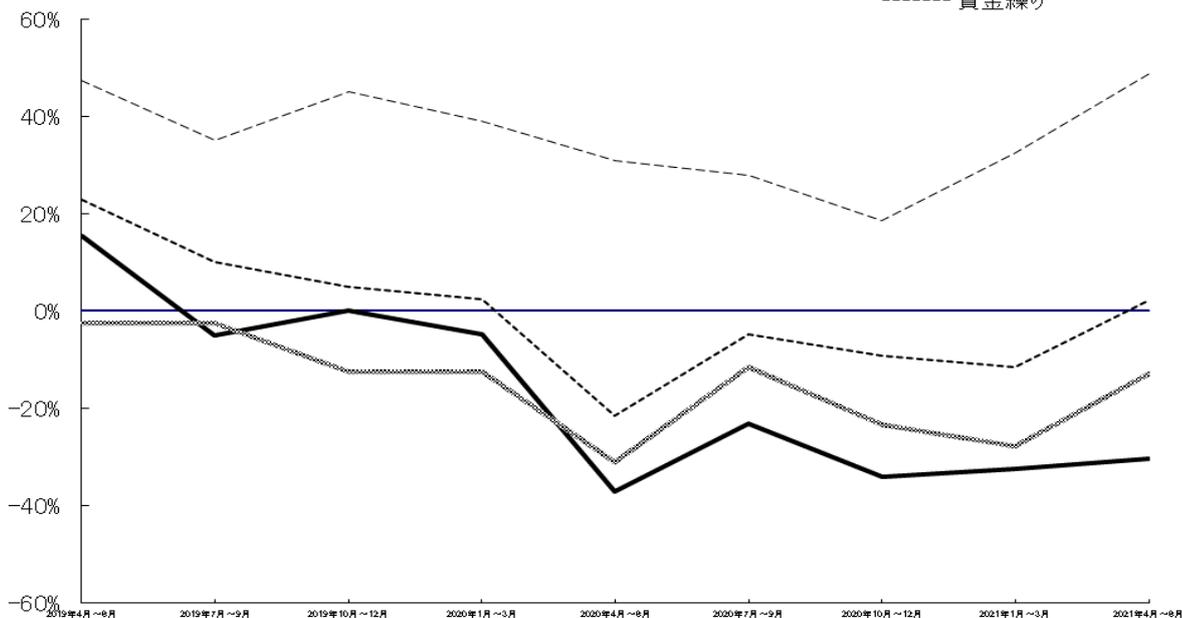
1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

建設業 DI	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	R3.1～3	R3.4～6	前期との比較	R3.7～9	今期との比較	
売上額 （完成工事額）	-32.6	-30.4	↗	-17.4	↗	
材料仕入単価	32.6	48.9	↗	31.8	↘	
採算	-27.9	-13.0	↗	-21.8	↘	
資金繰り	-11.6	2.1	↗	-13.1	↘	

広島県 建設業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -

D. I



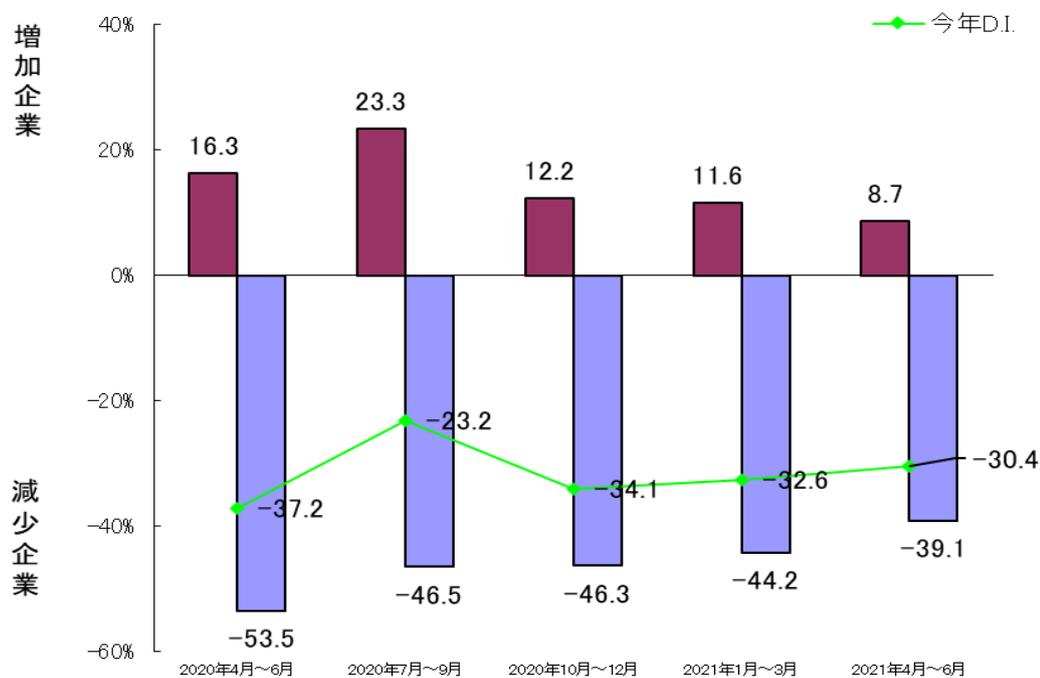
..... 企業のコメント

- ・ コロナの影響により、材料価格の上昇及び材料の入手も困難になっている。それに伴い、見積もりと材料の仕入値が合わなくなってくるため、利益率が下がることが懸念される。(大工工事業)
- ・ 木材が不足している。コロナで延期の物件もあり、苦しい状況。(建築リフォーム工事業)
- ・ コロナの関係で仕事も低迷です。木材の入りも悪くなっている状態で、単価も上がってきている。(木造建築工事業)
- ・ 工事規模の大きなものが重なれば、売上は増えるが、変動が大きいため安定した売上の維持は難しい。今期は利益が出たが、来期は全くわからない。(電気配線工事業)
- ・ ここ3か月は忙しかったが、これから減少予定。コロナ影響が出ているのではないか(タイル工事業)
- ・ 様々な制度や補助金を受けたが、前期は経費負担が大きかった。資金繰りが悪いので、コロナが長引くと先行きに不安がある。(建築リフォーム工事業)

2.売上額(完成工事額) -前年同期比-

広島県 建設業

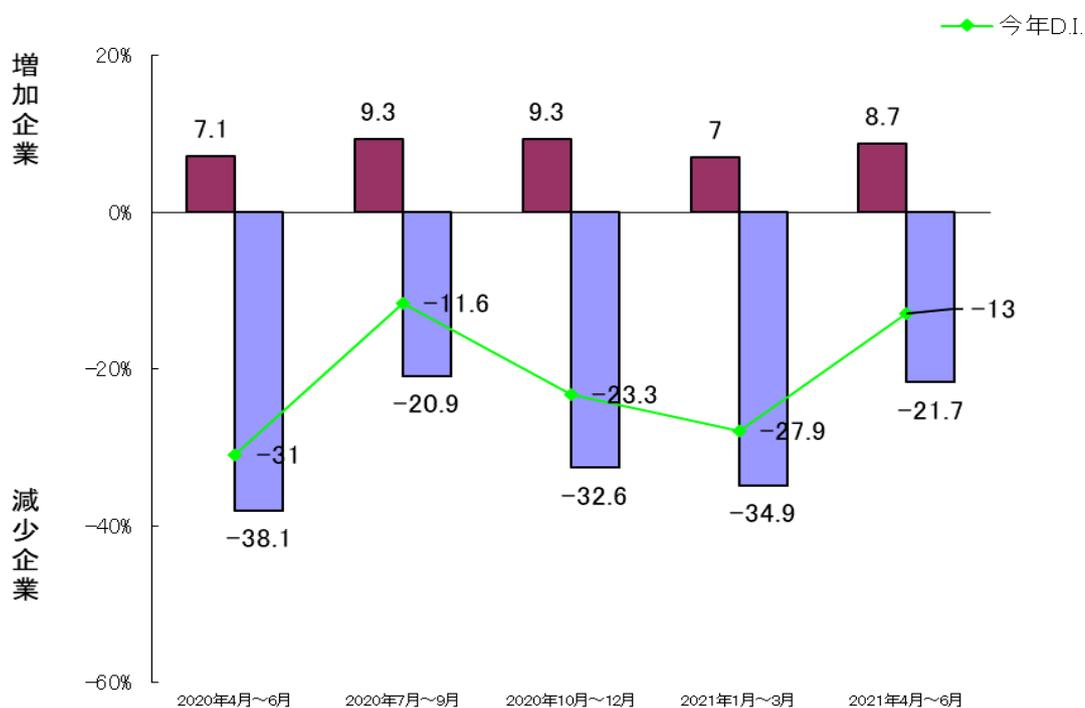
完成工事額の状況-前年同期比-



3.採算(経常利益) -前年同期比-

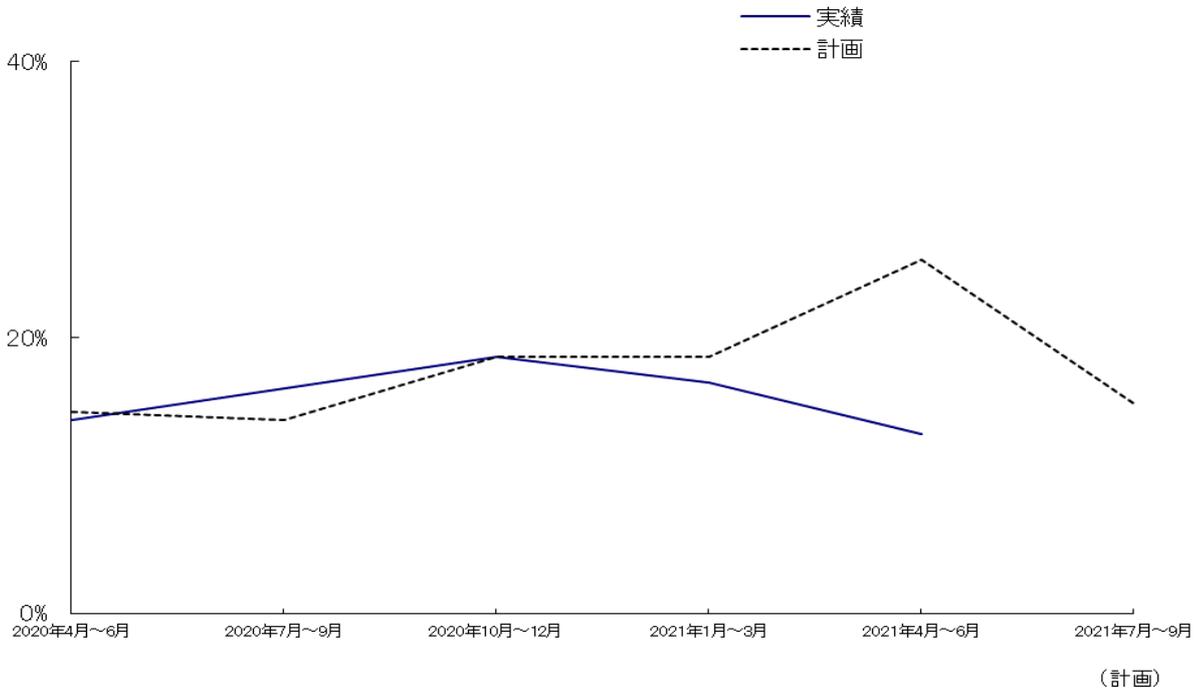
広島県 建設業

採算の状況-前年同期比-



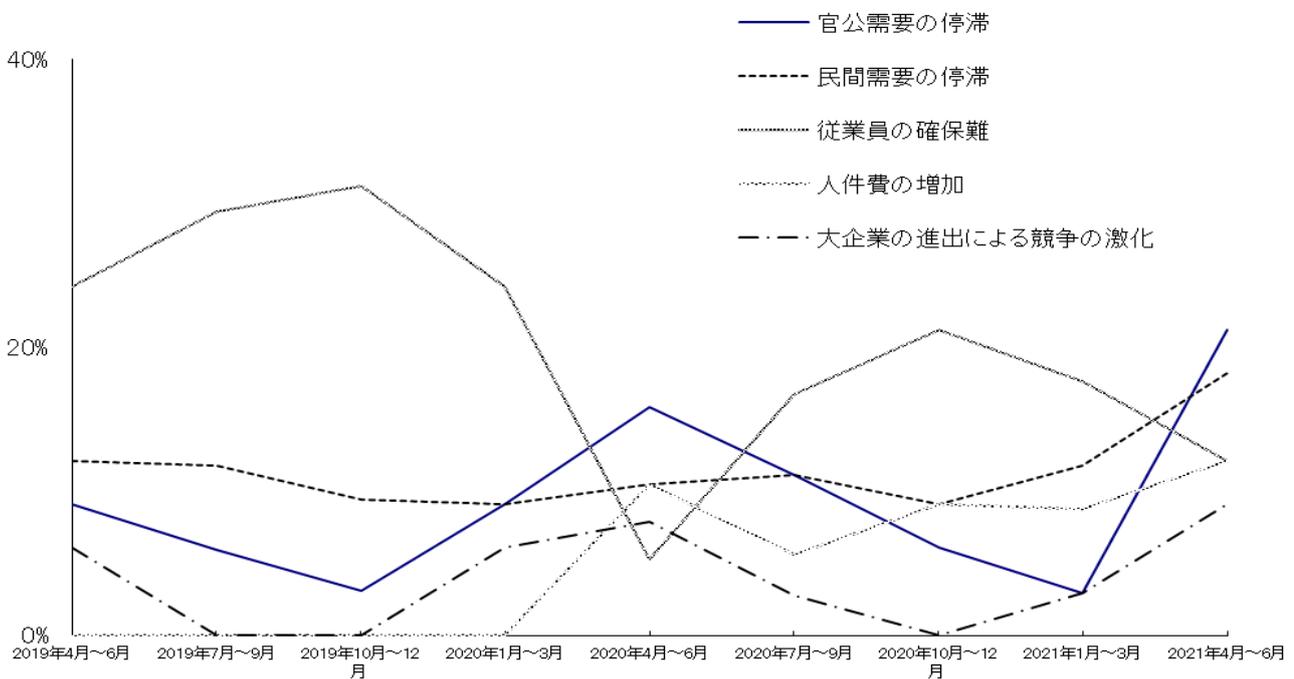
4.設備投資の状況

広島県 建設業
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 建設業
経営上の問題点の推移（一位の問題点・上位5つの推移）



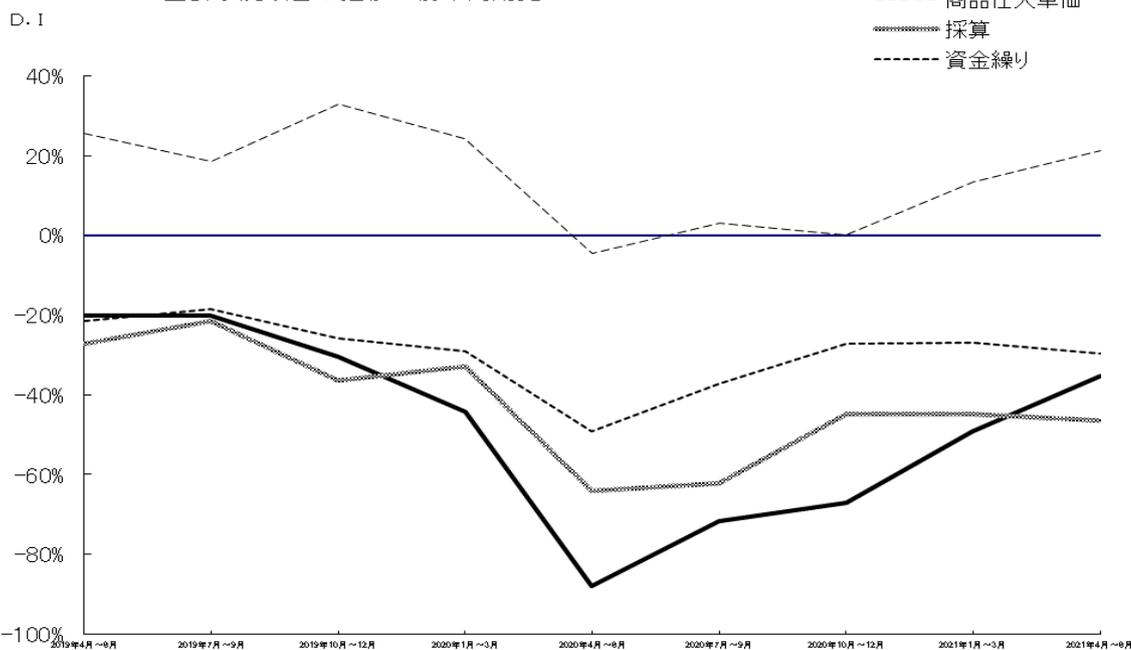
小売業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

小売業 DI 主要項目	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	R3.1～3	R3.4～6	前期との比較	R3.7～9	今期との比較	
売上額	-49.3	-35.2	↗	-46.4	↘	
商品仕入単価	13.5	21.4	↗	15.7	↘	
採算	-44.8	-46.5	→	-49.3	↘	
資金繰り	-26.9	-29.6	↘	-33.8	↘	

広島県 小売業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -



..... 企業のコメント

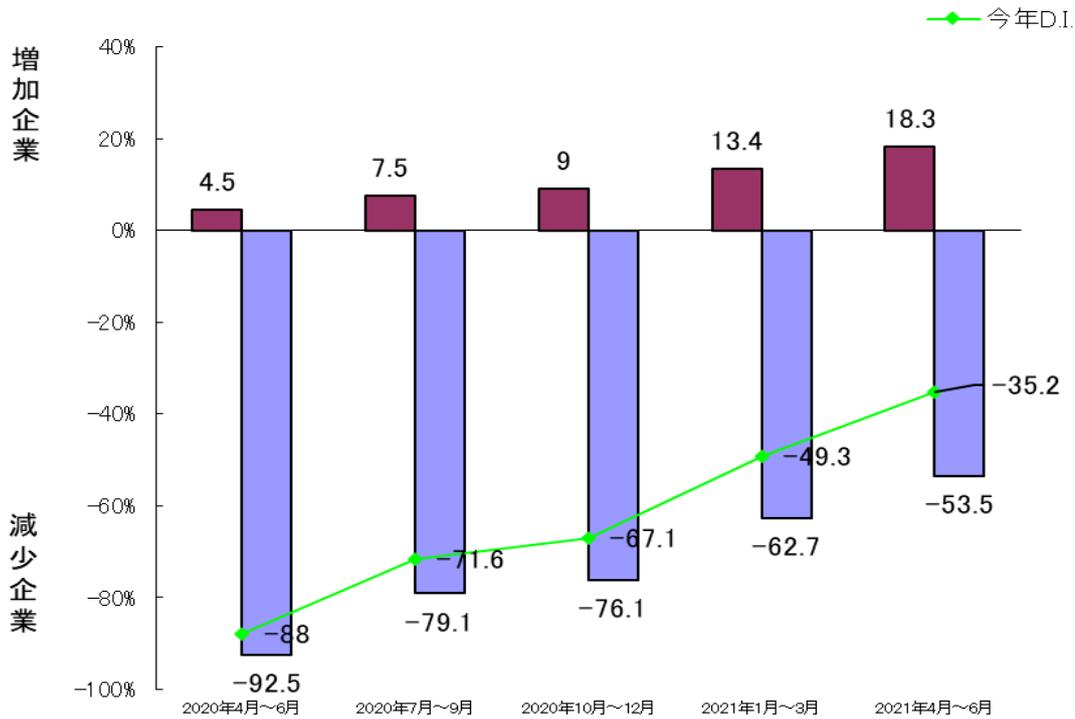
- ・コロナ緊急事態宣言下で極端な客数減少が続く中、業況は悪化。秋口までこの状況は続くと感じている。年末には資金繰り不安も出てくると予想。もう一步踏み込んだ政策融資等の小規模事業者向け施策を期待する。(書籍・雑誌小売業(古本を除く))
- ・コロナ禍で緊急事態宣言の発令のもと、なんとか営業を続けていますが、除菌のための諸費もかさみます。キープディスタンスのために人の流れが私どものような田舎に集まり、感染拡大防止にも非常に気を使います。(菓子・パン小売業)
- ・今回の緊急事態宣言下で、飲食店やイベントの需要が見込めない為、30～40%の売上減が予想される。宣言解除後のV字回復は望めないなので、当分は資金繰りを含めた厳しい状況が続くであろう。(酒小売業)
- ・需要が停滞している中で、同業者含め、エネルギー間での競争も厳しくなってきた。(燃料小売業)
- ・緊急事態宣言が出され、飲食店への納品が一斉に止まりましたが、その分「家飲み」に対応する商品をお勧めとしてなんとか経営できています。(その他の飲食料品小売業)
- ・GW直前に市内でコロナ陽性が数人出て以後、GW中もそれ以後も売上が良くない。更に5/15には早くも梅雨入りして、状況的に非常に悪い。需要の停滞は避けられない。(その他の織物・衣服・身の回り品小売業)

小売業（商工会地域）

2.売上額 -前年同期比-

広島県 小売業

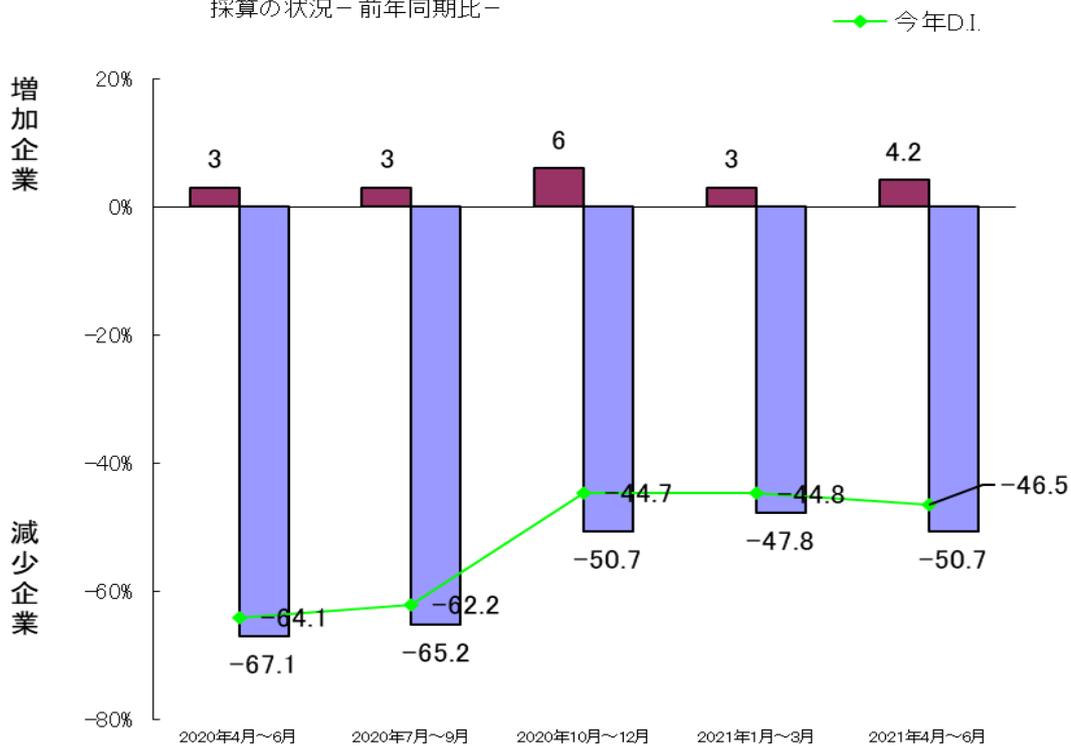
売上額の状況 - 前年同期比 -



3.採算（経常利益） -前年同期比-

広島県 小売業

採算の状況 - 前年同期比 -

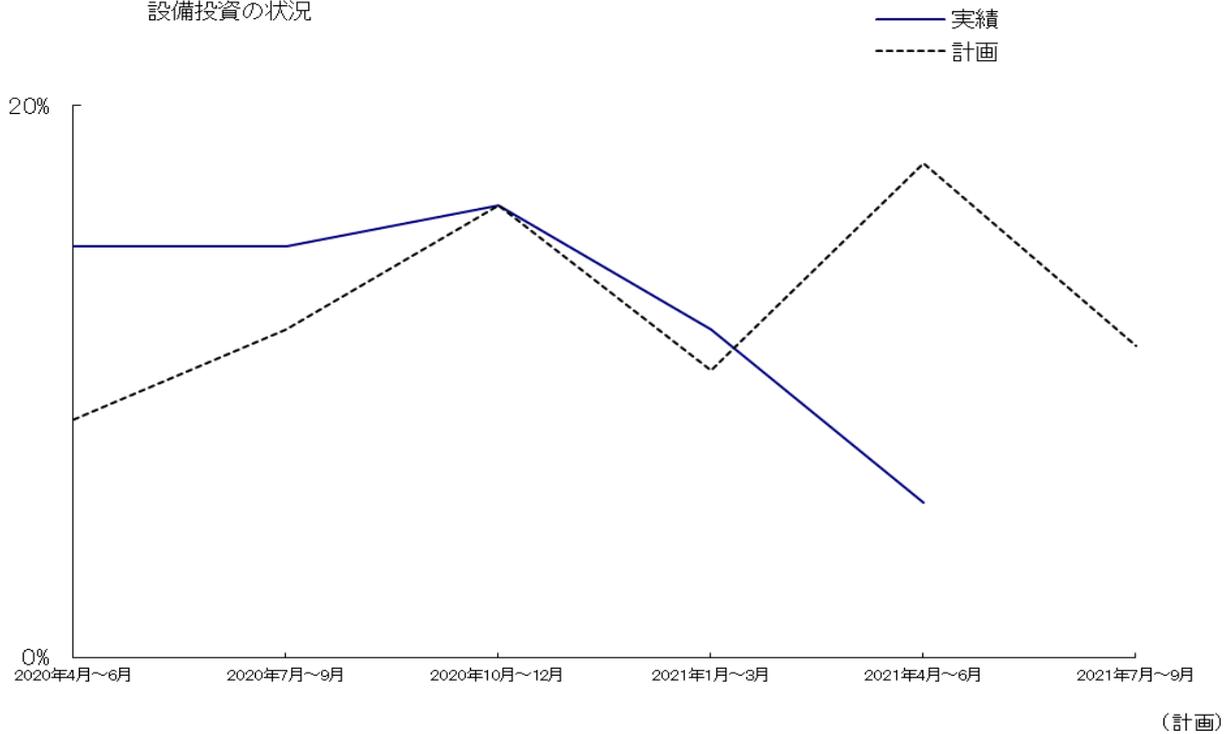


小売業（商工会地域）

4.設備投資の状況

広島県 小売業

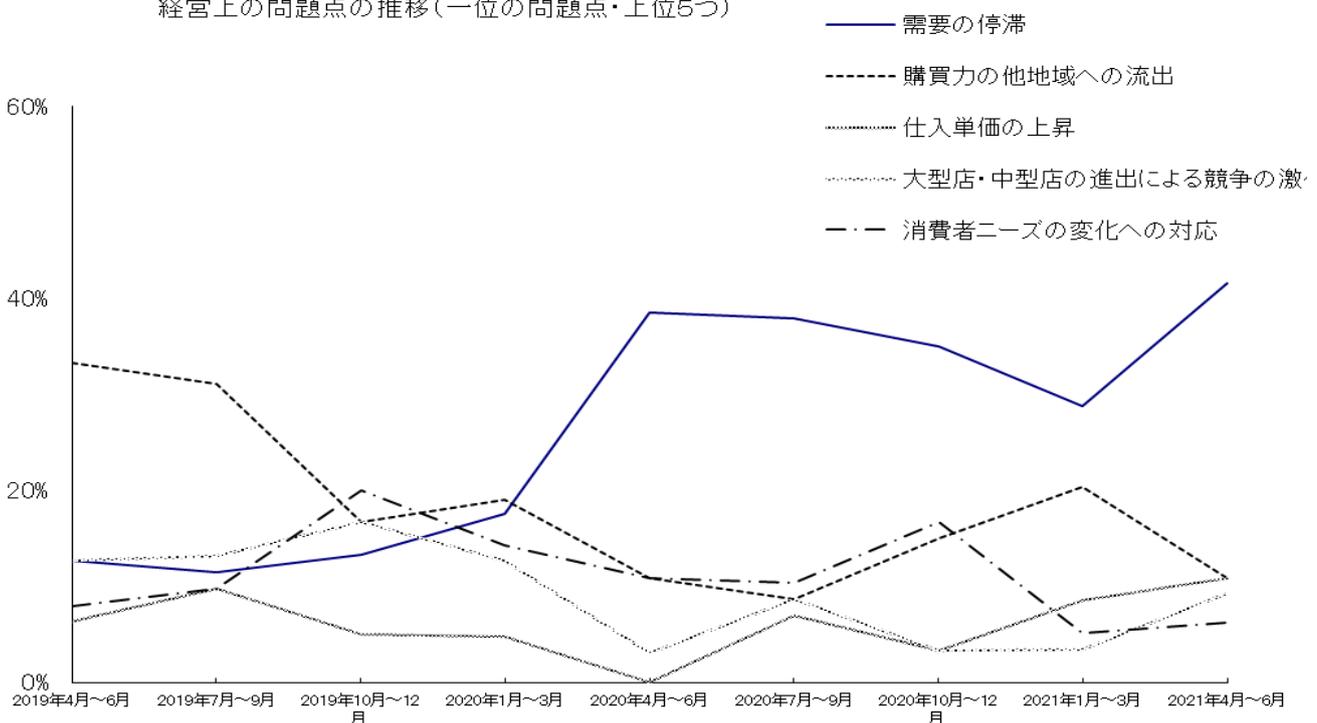
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 小売業

経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）



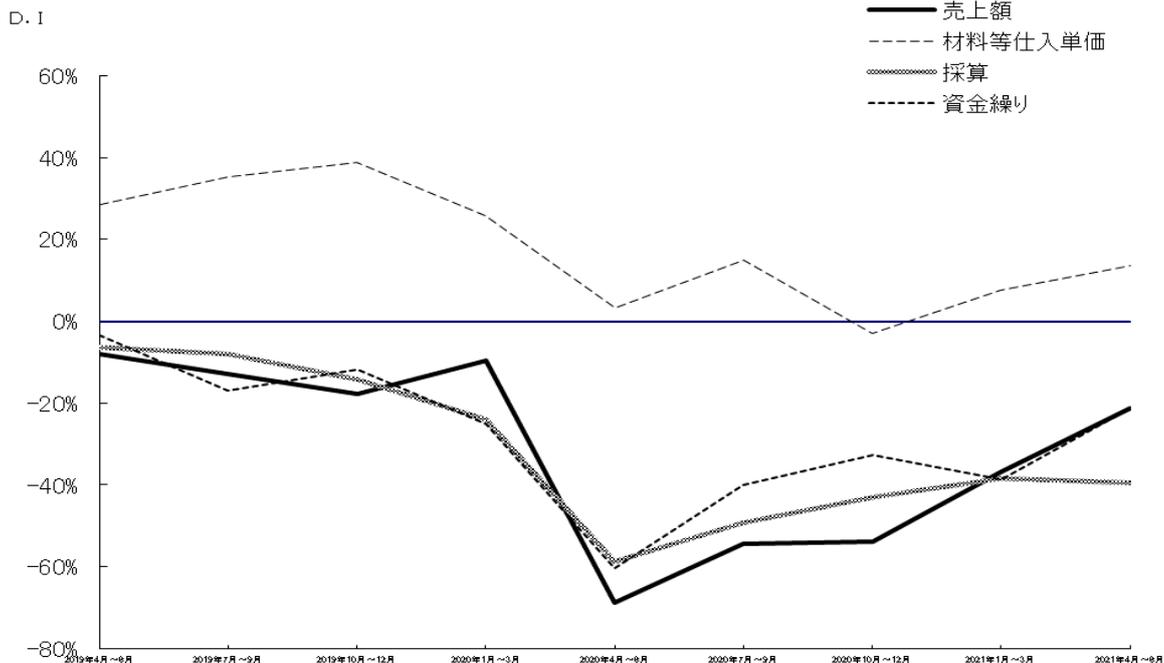
サービス業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	サービス業 DI (前期)		(今期)		(来期見通し)	
	R3.1~3	R3.4~6	前期との比較	R3.7~9	今期との比較	
売上額	-36.7	-21.2	↗	-39.4	↘	
材料等仕入単価	7.5	13.6	↗	1.5	↘	
採算	-38.3	-39.4	→	-38.8	→	
資金繰り	-38.8	-21.3	↗	-31.8	↘	

広島県 サービス業

主要景況項目の推移 -前年同期比-



..... 企業のコメント

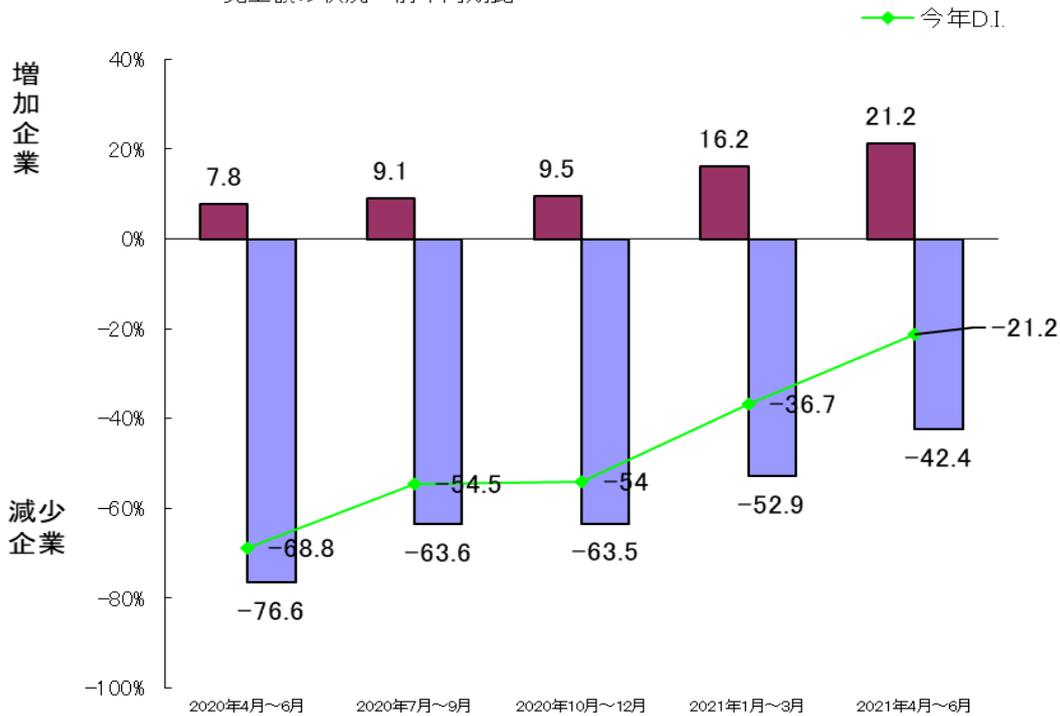
- ・ コロナの感染者数が減少しない限り、宴会・法事等の複数での会食はないと思います。法事はコロナで取りやめにする、という前例ができ、今後はやらないという風潮が見られます。(日本料理店)
- ・ やや回復の傾向にあり、バスも学校での利用が戻りつつあったものが、緊急事態宣言により、全てキャンセルとなり、更に6月より延長となるため、暫くはバスの売上がゼロになる。タクシーは変動があまりない。(一般乗用旅客自動車運送業)
- ・ ベテラン船員が不足している。若年者を雇用するほどの余裕はないので、給料が上昇し続けている。今後の見通しもたえず、新たな設備投資も難しい状況にある。(沿海海運業)
- ・ コロナの影響でお客様の商品の購入の買い控え。低価格な商品へのシフトが見られる。ネット等での買い物が増えている。(自動車整備業)
- ・ 広島県下のコロナ感染拡大、緊急事態宣言の発令により利用客数の大幅減少、出張、会議の大幅減少による宿泊、会席の減少により、業況は大幅に悪化している。今期の動きは去年同期より好転しているが、見通しが暗い。(旅館、ホテル)
- ・ コロナ禍の中、入店人数も制限している現状です。緊急事態宣言も発令され外出規制がかかり、お客様の来店人数がますます減少していると思われる。この先元に戻るのか不安に思います。(美容業)

サービス業（商工会地域）

2.売上額(加工額) -前年同期比-

広島県 サービス業

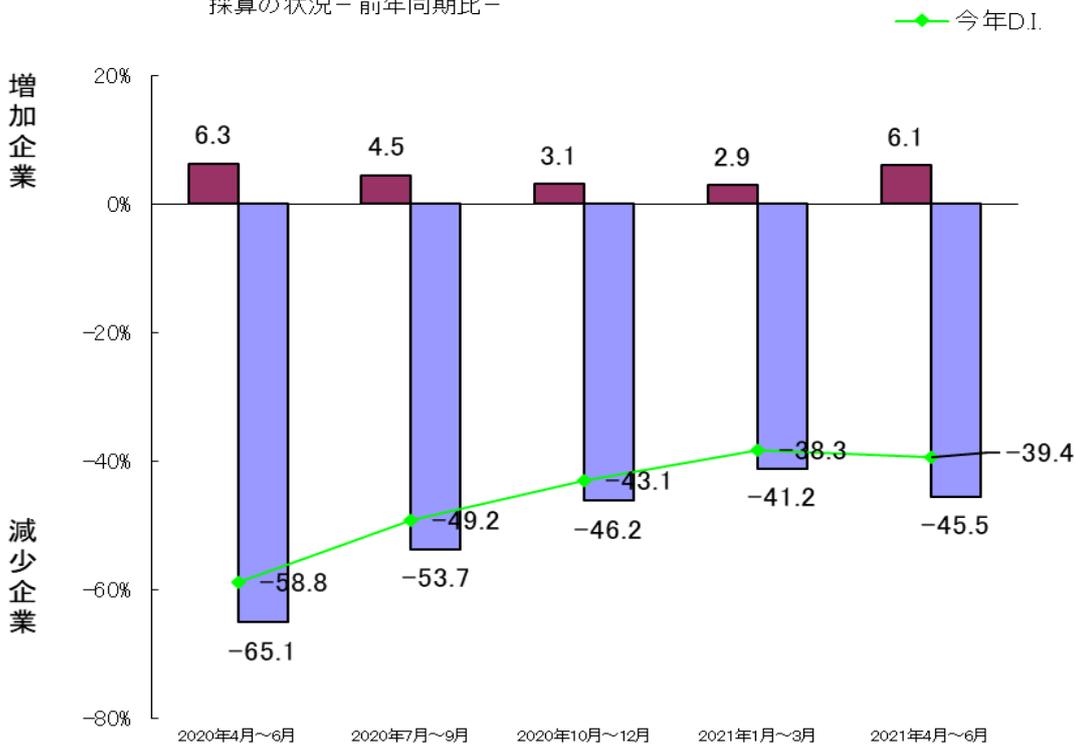
売上額の状況 - 前年同期比 -



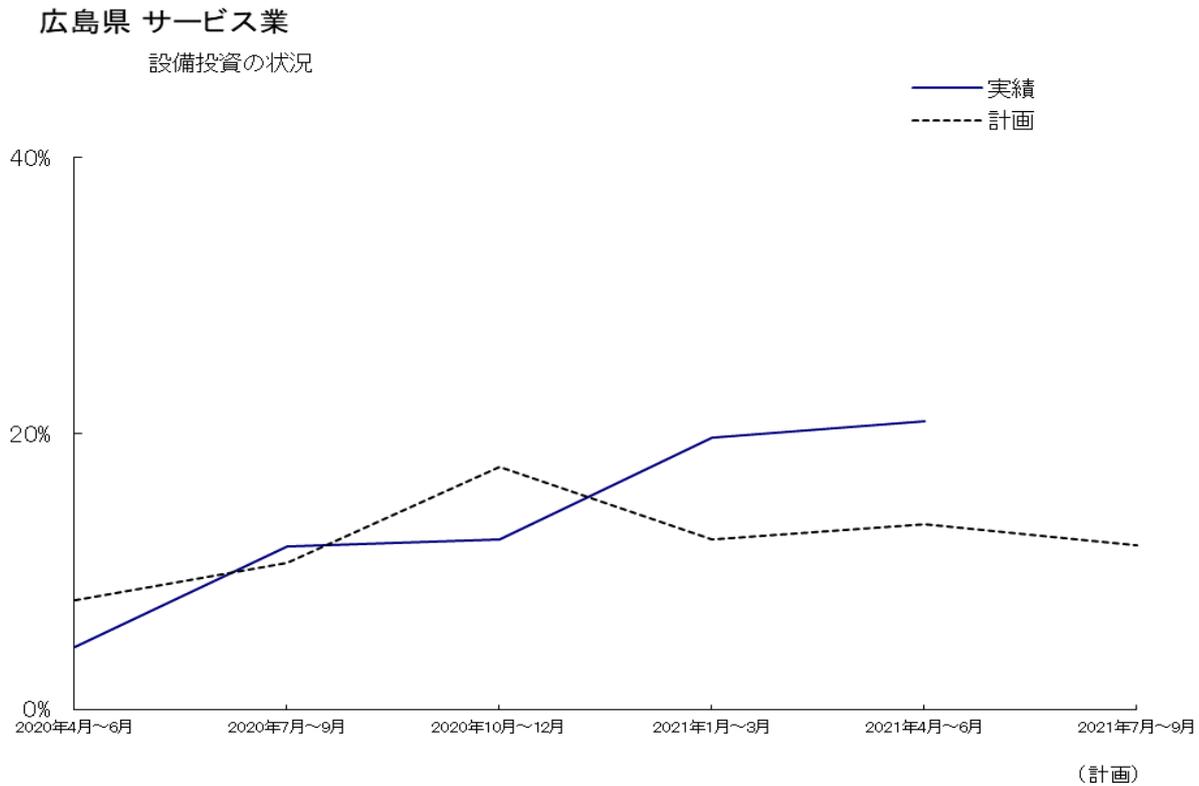
3.採算(経常利益) -前年同期比-

広島県 サービス業

採算の状況 - 前年同期比 -



4.設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

